

QLPU

プッシュクランプ

標準
在庫品

RCS

イマオ 製品ムービー公開
WEB

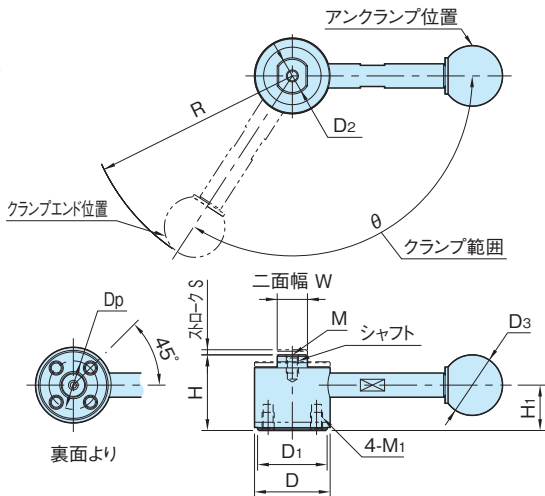
IMAO



(レバー付)



(レバーなし)



★One Point
コンパクト設計

カム	シャフト	レバー	握り玉
SCM440 焼入焼戻 四三酸化鉄皮膜	S45C 焼入焼戻 四三酸化鉄皮膜	S45C 四三酸化鉄皮膜	ABS樹脂 ブラック

タイプ	H	S	D ₂	M	W	θ	D	D ₁	M ₁	D _p	H ₁
QLPU150	25 注1)	1.7	12	M4×0.7深さ6	10	123°	25	23	M4×0.7深さ6	16	15
QLPU200	32 注2)	2.5	15	M6×1 深さ9	13	135°	32	30	M6×1 深さ9	20	19.5

タイプ	クランプ力 (kN)	クランプ機構
QLPU150	3	スパイラルカム カム角度4°
QLPU200	4	

注1) クランプ高さ25～26.7(クランプストローク1.7)

注2) クランプ高さ32～34.5(クランプストローク2.5)

■レバー付

品番	R	D ₃	レバー荷重 (N) 注3)	質量 (g)
QLPU150R	69.5	20	150	100
QLPU200R	103	25	200	200

注3) レバーに掛けられる許容荷重です。

■レバーなし

品番	レバー取付け ネジサイズ	質量 (g)
QLPU150NR	M5×0.8	75
QLPU200NR	M6×1	150

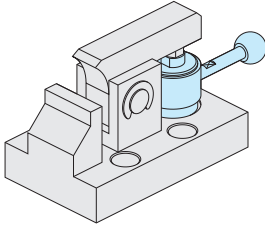
レバー(別売品)は下記製品をご覧ください。

- ・QLSL レバー (P. 1406 参照)
- ・QLTL トルク調整レバー (P. 1408 参照)

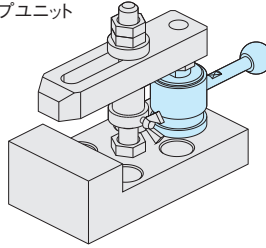
使用例・使用方法

アプリケーションの構築

せり込みユニット



ストラップユニット



注意事項

- ・アタッチメントをシャフトに取付ける場合、必ずシャフトをスパナ等で固定し、回転トルクを加えないでください。(図1)
- ・クランプエンドを超えて更にレバーを回すと再びアンプランプ時に戻ります。レバーは360°回転します。

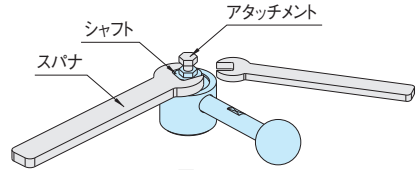
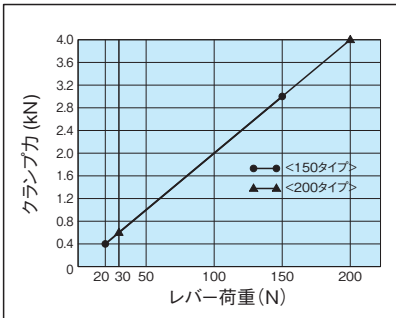


図1

能力線図

■QLSL レバーの場合 (P. 1406 参照)

レバー荷重とクランプ力の関係は下グラフを参考にしてください。



⚠ クランプ力値は、目安としてください。
保証する値ではありません。

■QLTL トルク調整レバーの場合 (P. 1408 参照)

⚠ クランプ力値は、目安としてください。
保証する値ではありません。

- ・トルク調整レバー使用時のレバーの折れ曲がり荷重とクランプ力の関係は下グラフを目安にしてください。
- ・荷重 (kN) を設定しクランプ力線との交点より、ねじ込み量 (レバー端面からの止めネジの沈み込み量) を読み取ってください。
- ・折れ曲がり荷重の計測は、フォースゲージ等をご使用ください。

